

技能評価システム移転促進事業(SESPP) は日本式技能評価のノウハウを移転するため、ベトナム、カンボジア、インドネシアを対象に日本から専門家を講師として派遣し、セミナーや技能評価トライアルを実施しています。事業の運営事務局を株式会社 J T B 霞が関事業部にて受託しております。

日本式の技能評価の活用促進が図れるよう、J-Skills Newsでは、事業の取組など、お知らせしています。(年4回発行)

## □カンボジア・ベトナムで2019年度現地事業評価を実施

SESPP事業の効果的・効率的な実施を図るため、対象国における技能労働者のニーズの把握、広報手法や取組職種・等級の検証、中長期的課題の把握等を行うことを目的として、活動対象国であるカンボジアで12月24日(火)、ベトナムで12月26日(木)に官民合同委員会を開催しました。

メンバーは各国政府人材開発部局、業界団体、協力企業のほか、厚生労働省およびSESPP事務局、その他本事業に関係する者で構成され、議題については、当年度事業の実施状況や成果、次年度実施に向けた提案、意見交換など、対象国の自立運営に向けた事業効果の検証を行っています。

(参考) 詳細はSESPPポータルサイトにも掲載しています。 <http://sespp.mhlw.go.jp/>

## ■カンボジア

日時・場所	2019年12月24日(火) 09:00-12:25 ; 労働職業訓練省
参加者数	25人 ※政府、訓練校、企業など
今年度実施した職種の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シーケンス制御3級 技能評価技法研修、トライアル</li> <li>・電気系保全3級 技能評価技法研修、トライアル</li> <li>・電工 技術指導研修、競技トライアル</li> <li>・本邦研修(2週間、4名) シーケンス制御のオリジナル課題の作成、技能五輪大会の視察</li> </ul>
次年度の職種に係る主な議論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シーケンス制御3級と電気系保全3級については、トライアルを予定、評価者認定まで実施。</li> <li>・新職種として、電子機器組立について今後検討。</li> <li>・本邦研修：電気系保全3級。愛知技能五輪大会の視察を含む。</li> <li>3職種(配電盤・制御盤、シーケンス制御、電気系保全)の早期国家検定化を望むが、同時に進めるのが難しいようであれば、電気系保全がお薦め(JICA事務所)</li> </ul>
国家検定化に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国家検定化を進める旨の共通認識ができた。(両国政府)</li> <li>・アセスメントセンターの設立を進め、国家検定を実施する。語学力の向上を目指す。(訓練校)</li> </ul>



カンボジア労働職業訓練省の挨拶



官民合同委員会の様子



次年度の支援の方向性についての説明

## ■ベトナム

日時・場所	2019年12月26日（木）09:15-12:25 ; ハノイ電気機械短大（HCEM）
参加者数	22人 ※政府、訓練校、企業など
今年度実施した職種の成果	<p>《北部（ハノイ）》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機械検査3級 学科試験問題集作成、トライアル、評価者認定（4名新規認定）</li> <li>・旋盤2級 トライアル、評価者認定（4名新規認定）</li> <li>・シーケンス制御2級 技能評価技法研修、トライアル、評価者認定（5名新規認定）</li> </ul> <p>《南部（ホーチミン）》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シーケンス制御2級 評価者講習</li> <li>・旋盤2級 職業訓練技法講習</li> <li>・フライス盤3級 評価者講習、トライアル</li> <li>・機械検査3級 トライアル、評価者認定（3名新規認定）</li> </ul> <p>《その他》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本邦研修（2週間、2名）シーケンス制御のオリジナル課題の作成、技能五輪大会の視察</li> </ul>
次年度の職種に係る主な議論	<p>《北部（ハノイ）》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国家検定化に向け、機械検査2級を想定。技能評価技法研修、評価者講習、トライアル。</li> <li>・日系企業からもニーズがあるCAD製図の評価者講習、トライアル。</li> </ul> <p>《南部（ホーチミン）》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハノイで5名の認定評価者が誕生したシーケンス制御2級のトライアルを南部でも実施。</li> <li>・フライス盤3級のトライアルを2回実施し、南部でも評価者認定を行う。</li> </ul> <p>《その他》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本邦研修：電気系保全3級。愛知技能五輪大会の視察を含む。</li> </ul>
国家検定化に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機械検査の問題集の提供を受け、DVET に対し、国家検定化するよう依頼した。（訓練校）</li> <li>・日本の基準と細目を参考にして調整の上、機械検査から国家技能標準を作成する。（DVET）</li> </ul>



ベトナム・職業教育訓練総局の挨拶



官民合同委員会の様子



次年度の支援の方向性についての説明

### コラム：2018年度の日本の技能検定実施状況とりまとめ

技能検定制度は、日本政府が、実技試験と学科試験により労働者の技能を公証するしくみで、60年近くの歴史をもっています。2018年度は、80.7万人が受検し、うち32万人が合格して「技能士」の称号を手に入れました。技能分野は現在、製造業、建設業、サービス業の130職種に及び、熟練技能をもつ1級、即戦力となる2級、初級レベルの3級などの等級に分かれています。2018年度に受検者が最も多かった職種は、ファイナンシャル・プランニングで、以下、機械保全、機械加工、知的財産管理、機械検査と続いています。

#### ◆受検申請者数の多い職種（全等級合計）

職種名	受検申請者数	前年度比	合格者数	前年度比
ファイナンシャル・プランニング	451,804 人	-3.4 %	133,210 人	-12.7 %
機械保全	37,072 人	+4.5 %	10,030 人	-16.7 %
機械加工	24,418 人	+10.1 %	14,965 人	+7.1 %
知的財産管理	17,714 人	-0.8 %	8,223 人	-3.2 %
機械検査	17,384 人	+14.3 %	10,097 人	+7.9 %

（参考）厚生労働省報道発表資料 [https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_06421.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_06421.html)



## □機械検査の国家検定化に向けて、ベトナムDVETに SESPP技能評価技法研修で作成した3級学科試験問題集225問等を提供

機械検査はベトナム北部地域、南部地域を問わず、SESPP事業の技能トライアル（SET）で受検希望者が多い職種で、日系企業からは検査担当スタッフはもちろん、機械加工担当や組立担当のスタッフにも必要とされるスキルであり、日系企業や職業訓練施設から国家検定化を期待する声が多く寄せられています。ベトナムで国家検定として認定されるためには、当該職種のNOSS（国家職業技能標準）の開発、試験問題集（日本の3級と2級レベル）の開発等が重要な要素となっています。

2019年度は、9月18日（水）～20日（金）、12月23日（月）～25日（水）の計2回6日間、HaUI（ハノイ工業大学）にて機械検査の技能評価技法研修（SEM）を実施しました。受講者はHaUIおよびHIVC（ハノイ工業職業短大）から選抜された6名。講師は、稲川 文夫氏（SESPP事務局 技術顧問）です。

2回のSEMでは、NOSSの開発に有効な参考資料となる技能検定機械検査の基準と細目（ベトナム語版）の作成、3級学科試験問題（真偽法）の作成方法に係る指導および作成演習を通して試験問題集の開発を行いました。

完成した「技能検定機械検査；職種の基準と細目（ベトナム語版）」および「機械検査3級学科試験問題集（真偽法、225問収録）」については、官民合同委員会当日、稲川専門家より、DVETの職業技能部のPhong副部長、Haさんに対して、学科試験問題30問の編成方法と使い方を説明した上で提供しました。なお、ベトナム側が当該職種の国家検定化をスムーズに進めるためには、2級学科試験問題集の開発、2級実技試験が担当できる評価者のレベルアップ研修（SAT、SET）等の支援を行う必要があります。



講義風景



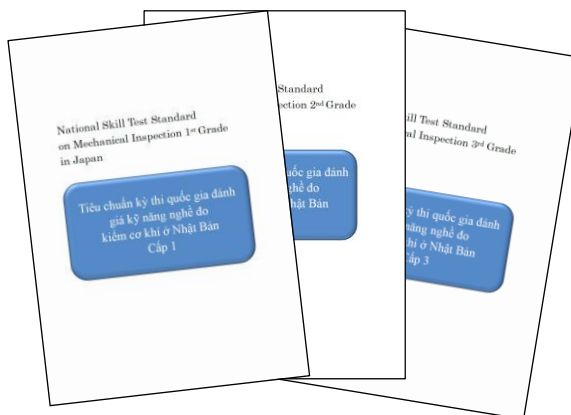
問題作成風景



稲川先生よりPhong副部長へ学科試験問題の提供



学科試験問題の編成方法に関する説明



## □研修レポート

### ■ASEAN大会に向けた電工の競技トライアル・デモンストレーション（カンボジア）

カンボジアでは本年7月にシンガポールで開催されるASEAN大会に電工職種で出場するPPI（プレアコソマック工科職業訓練校）の2名に対して、世界技能競技大会のメダリストである、木下 富博氏・川下 政彦氏（ともにきんでん）のおふたりの指導者が世界基準による施工法・評価法にもとづいた技術指導を行いました。また、受講者2名の他に、国立カンボジア工科大学（NPIC）、国立技術訓練大学（NTTI）、カンボジアタイ技能開発大学（CTSDI）、PPIから各2名・計8名のオブザーバーも参加し、日本のメダリストのデモンストレーションを間近で見学をしました。

各作業の基本的な施工方法はもとより、時間を短縮するための施工手順や評価基準に基づいた施工レベルをデモンストレーションにより理解してもらい、その後、実戦練習をして技能を習得してもらうような研修プログラムとなっております。

研修終了後に専門家からは、「アセアン大会の入賞に近づいたと感じる。学んでもらった施工方法は変わらないが、慣れない材料でもうまく対応して欲しい。今後のトレーニングにより、時間短縮に努めてもらいたい」とアセアン大会に期待されるお言葉をいただきました。

SESPPでは、活動対象国にて国家検定化をして頂く、ということが何よりも重要な成果ではありますが、今回のような技能競技大会出場者への指導を通じて、技能競技大会の実施運営、評価方法などを学んでいただく、という支援も行っております。



配電盤の作業風景



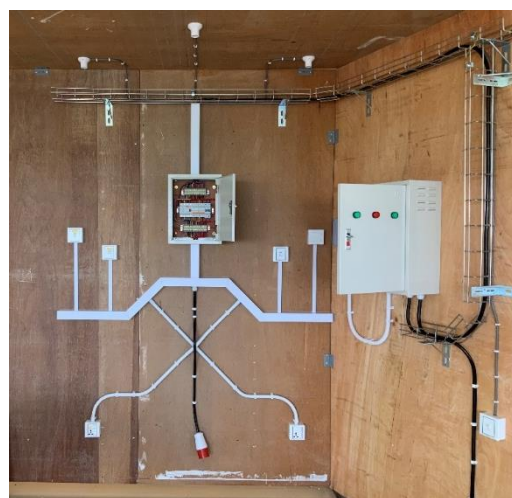
専門家によるデモンストレーション



世界基準による専門家の技術指導



専門家によるデモンストレーション



カンボジア国内大会優勝者の完成作品

発行：SESPP事務局（株式会社JTБ 霞が関事業部）

## 『J-Skills News』に関するお問合せ

SESPP事務局（株式会社JTБ 霞が関事業部）

〒100-6051 東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビルディング23階  
TEL：+81-3-6737-9263 FAX：+81-3-6737-9266

担当：増沢・近藤・風見

E-mail：[sespp@jtb.com](mailto:sespp@jtb.com)